



夏に向けて衣替え！市亜熱帯動植物園でヒツジの毛刈りを体験する親子

広報  
No.655

# させぼ



広報させぼ 編集長  
「キューちゃん」

特集 美しい環境を  
未来の子どもたちへ

2 ~ 5 p

今月の主な内容

- 自然災害、地震災害への備えなど 6 ~ 9 p
- 市民の広場 10 ~ 11 p
- イベント、施設だより 12 ~ 13 p
- 歴史散歩、カレンダー、テレホンガイド 22 ~ 23 p
- 九じろうの取材日記 24 p



PUBLIC RELATIONS SASEBO



**編集長から「一言」**  
市亜熱帯動植物園の毛刈り実演後、刈り終えたヒツジの毛は、重さが約3キロもありました。重い毛皮を脱いですっきり身軽になったヒツジは、軽快に辺りを走り回っていました。もうすぐ夏到来。わたしの重い体もヒツジのように衣替えできるといいのにな。(N)

広報 させぼ

平成17年6月1日発行

佐世保市役所企画調整部秘書課広報係 TEL 0956-24-1111 FAX 25-2184  
〒857-8585(市役所専用)長崎県佐世保市八幡町1-10 http://www.city.sasebo.nagasaki.jp 印刷/有限会社 日新堂印刷所

## 九じろうの取材日記

佐世保市国際交流員  
尹京連さん



4月10日付けで、中国・青島市から、本市9人目の国際交流員として着任した尹京連さんをご紹介します。  
尹さんは、市役所文化交流課に在籍し、1年間、中国からの訪問客の通訳や市民への語学指導などを担当します。

佐世保の第一印象は「活気あれる街」

日本の印象について尋ねると、「初来日前は、経済が発展している先進国とのイメージが強かったのですが、実際に住んでみると、人々は礼儀や秩序を重んじ、街はきれいで環境を大切にしています」と尹さん。  
佐世保については、「今回初めて佐世保を訪れました。駅周辺の再開発など活気にあふれる街という印象を持ちました。これから、佐世保のまちづくりや観光への取り組みなどを勉強して、九十九島やハウステンボスにも行ってみたいと思います」と話しました。

尹京連(イン・ジン・リャン)さん  
中国・青島市出身。青島市市南区役所に勤務。平成4年に農業技術研修生として初来日。平成12年には、青島市と姉妹都市の下関市の大学で1年間、日本語や経済学を学ぶ。区役所では、日本や韓国などの企業を青島市へ誘致する仕事などを担当。



国際交流員の辞令交付式で、光武市長から辞令を受ける尹さん

自然が豊かで過ごしやすい  
青島にぜひお越しください

青島市のことを尋ねると、「海に面した人口約七百二十万人の『沿海開放都市』で、山も近くあり自然が豊かでとても良いところです。また、繊維や家電などの工業が盛んで、経済的にも重要な都市です。訪日観光のビザ(査証)が解禁され、今後は青島から佐世保への観光客も増えると思います。皆さんもぜひ、青島を訪れてください」と話してくれました。

市民の皆さんと交流して両国の友好を深めたい

「4月に中国で起こったデモは、一部の中国人の日本に対する誤解

から始まったものだと思います。青島市の大部分の人は、日本にはいい印象を持っています。わたしが佐世保にいる間は、中国語を教えたり、市内のイベントなどに参加したりして、中国の様子を伝え、市民の皆さんと心の交流をしたいと思っています。そして、少しでも両国の友好を深めたいと思います」と抱負を語りました。

尹さんは、青島市に妻と13歳の息子を残して単身赴任中です。「佐世保は、何でもそろっているので生活には困りません。周りの人も優しく接してくれます。妻と息子はまだ日本に来たことがないので、わたしが佐世保にいる間に、ぜひ日本の姿を見せたいと思います」と話してくれました。

PRINTED WITH SOY INK 100%再生紙と大豆インクを使用しています。R100